

家庭ごみ有料化制度の点検結果について (令和4年度振り返り)

令和5年11月

東久留米市環境安全部ごみ対策課

はじめに

東久留米市では、平成28年2月に「東久留米市家庭ごみ有料化に向けた実施計画」を策定（平成29年3月改訂）し、平成29年7月より全品目の戸別収集（小型廃家電類を除く）、同年10月より、市指定収集袋方式による「家庭ごみ有料化制度」を開始した。

本制度については、「ごみの減量」「公平な負担」「ごみに対する意識の向上」を目的として、それまでのごみの減量化・資源化の取組みに係る検証結果を踏まえ、更なる取組みを全市的なものとする効果的な手段として実施してきたところである。

本制度開始から5年が経過する中、他市と同様に新型コロナウイルス感染症の影響が廃棄物の排出実態にも表れており、本来のごみ減量化・資源化の効果を見極めることは難しい状況となっている。

こうした状況ではあるが、年度を通じた点検を実施する中で、排出抑制効果、再生利用促進効果、市民の意識改革、及び不法投棄の抑制・防止等、本制度の実施状況やその結果について、後述のとおり報告するものである。

目 次

I 排出抑制の効果.....	1
1 ごみ・資源物の収集量.....	1
2 1人1日当たりのごみ排出量.....	2
II 再生利用推進の効果.....	3
1 資源化率.....	3
III 市民の意識改革.....	4
1 分別精度.....	4
(1) 組成分析（乾ベース）.....	4
(2) 容器包装プラスチック回収量に対する夾雑物量の割合.....	5
IV 不適正処理や不法投棄の防止.....	6
1 不法投棄回収状況（特定家庭用機器）.....	6
V 手数料収入の用途.....	7
1 令和4年度清掃費歳入総額（前年度比較）.....	7
2 令和4年度清掃費歳出総額（前年度比較）.....	9
3 令和4年度家庭廃棄物収集手数料の内訳.....	11
参考 収集体制.....	12

I 排出抑制の効果

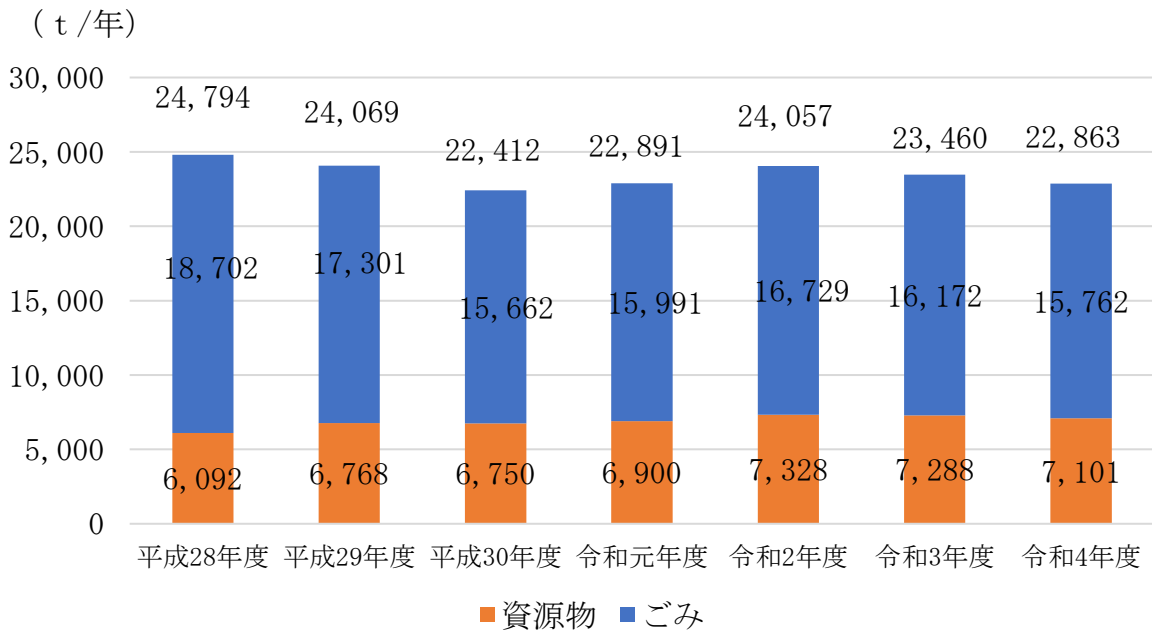
1 ごみ・資源物の収集量

令和4年度における「ごみ・資源物の収集量」は、前年度（令和3年度）より減少している。また、有料化実施前年度（平成28年度）との比較においても、減少しており、有料化による減量効果を確認することができる。

(単位：t/年)

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
有料化時期	実施前年度	10月より実施	実施後2年目	実施後3年目	実施後4年目	実施後5年目	実施後6年目	実施前年度(平成28年度)比
ごみ・資源物	24,794	24,069	22,412	22,891	24,057	23,460	22,863	-7.8%
ごみの行政収集	18,702	17,301	15,662	15,991	16,729	16,172	15,762	-15.7%
燃やせるごみ	16,383	15,029	13,847	14,082	14,493	14,217	13,884	-15.3%
燃やせないごみ	2,206	2,138	1,683	1,775	2,089	1,803	1,743	-21.0%
粗大ごみ	77	93	95	96	109	114	100	+29.9%
有害ごみ	36	41	37	38	38	38	35	-2.8%
資源物の行政回収	6,092	6,768	6,750	6,900	7,328	7,288	7,101	+16.6%
うち容器包装プラスチック	1,494	1,739	1,640	1,726	1,724	1,856	1,793	+20.0%

資料：多摩地域ごみ実態調査（表1 ごみ量）



2 1人1日当たりのごみ排出量

令和4年度における「1人1日当たりのごみ排出量」は、前年度（令和3年度）より減少している。また、有料化実施の前年度（平成28年度）との比較においても減少しており、有料化による減量効果を確認することができる。

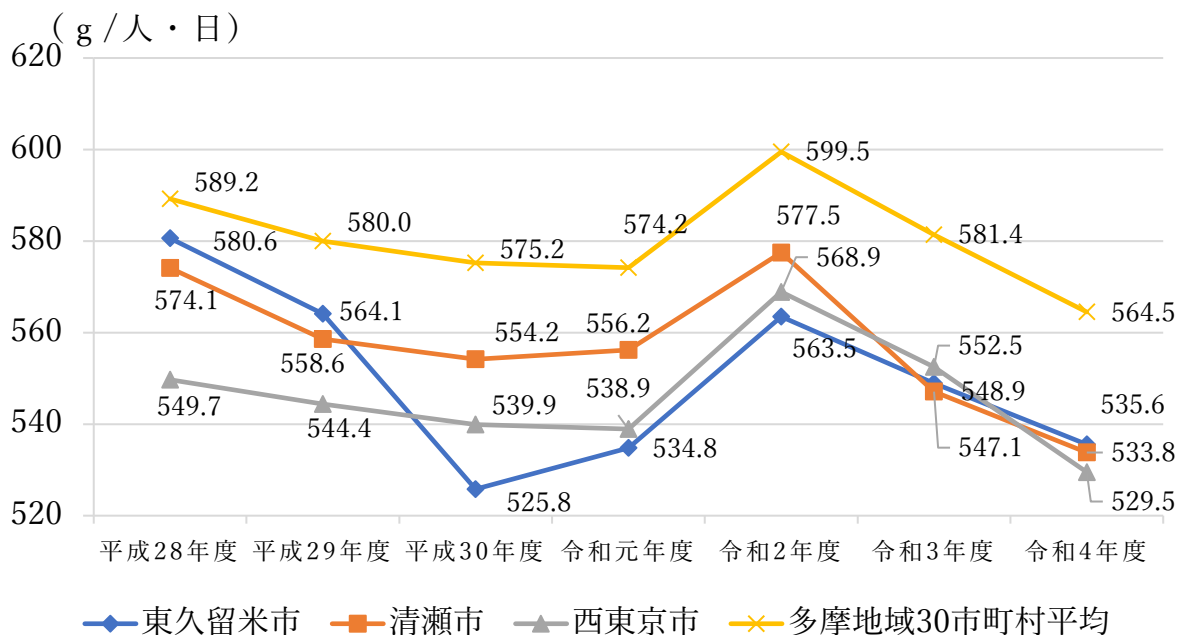
（単位：g/人・日）

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
有料化時期	実施前年度	10月より実施	実施後2年目	実施後3年目	実施後4年目	実施後5年目	実施後6年目	実施前年度（平成28年度）比
東久留米市 〈平成29年10月有料化〉	580.6	564.1	525.8	534.8	563.5	548.9	535.6	-7.8%
参考 清瀬市 〈平成13年6月有料化〉	574.1	558.6	554.2	556.2	577.5	547.1	533.8	-
参考 西東京市 〈平成20年1月有料化〉	549.7	544.4	539.9	538.9	568.9	552.5	529.5	-
参考 多摩地区30市町村平均 〈令和4年3月31日現在28市町村で有料化〉	589.2	580.0	575.2	574.2	599.5	581.4	564.5	-

資料：多摩地域ごみ実態調査（表2 ごみ量）

※ ごみ排出量原単位は、次の計算式より算出している。行政収集量÷（各年度10月1日の人口×365日（うるう年は366日））

※ 行政収集量には持込みごみ量及び集団回収量を含まない。



II 再生利用推進の効果

1 資源化率

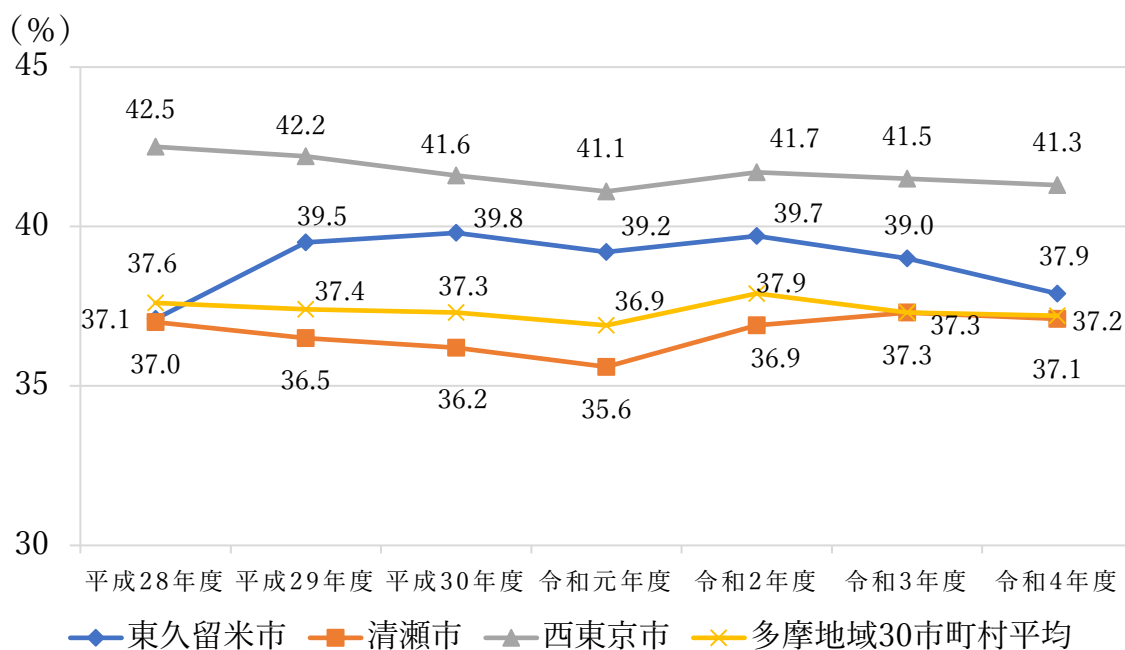
令和4年度における「資源化率」は、前年度（令和3年度）より減少しているが、有料化実施の前年度（平成28年度）との比較において増加しており、有料化による資源化率の向上を確認することができる。

(単位：%)

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
有料化時期	実施前年度	10月より実施	実施後2年目	実施後3年目	実施後4年目	実施後5年目	実施後6年目	実施前年度(平成28年度)比
東久留米市 (平成29年10月有料化)	37.1	39.5	39.8	39.2	39.7	39.0	37.9	+0.8%
参考 清瀬市 (平成13年6月有料化)	37.0	36.5	39.8	35.6	36.9	37.3	37.1	-
参考 西東京市 (平成20年1月有料化)	42.5	42.2	41.6	41.1	41.7	41.5	41.3	-
参考 多摩地区30市町村平均 (令和4年3月31日現在28市町村で有料化)	37.6	37.4	37.3	36.9	37.9	37.3	37.2	-

資料：多摩地域ごみ実態調査（表18 施策別の資源化量）

※ 資源化率は、次の計算式より算出している。(資源ごみからの資源化量+集団回収量+収集後資源化量) ÷ (総ごみ量+集団回収量)



III 市民の意識改革

1 分別精度

(1) 組成分析（乾ベース）

令和4年度の「組成分析（乾ベース）」において、前年度（令和3年度）と比較すると、燃やせるごみ中の不燃物の割合は同数値、燃やせないごみ中の可燃物の割合は増加しているが、両数値ともに、有料化実施の前年度（平成28年度）との比較において減少しており、有料化による分別精度の向上を確認することができる。

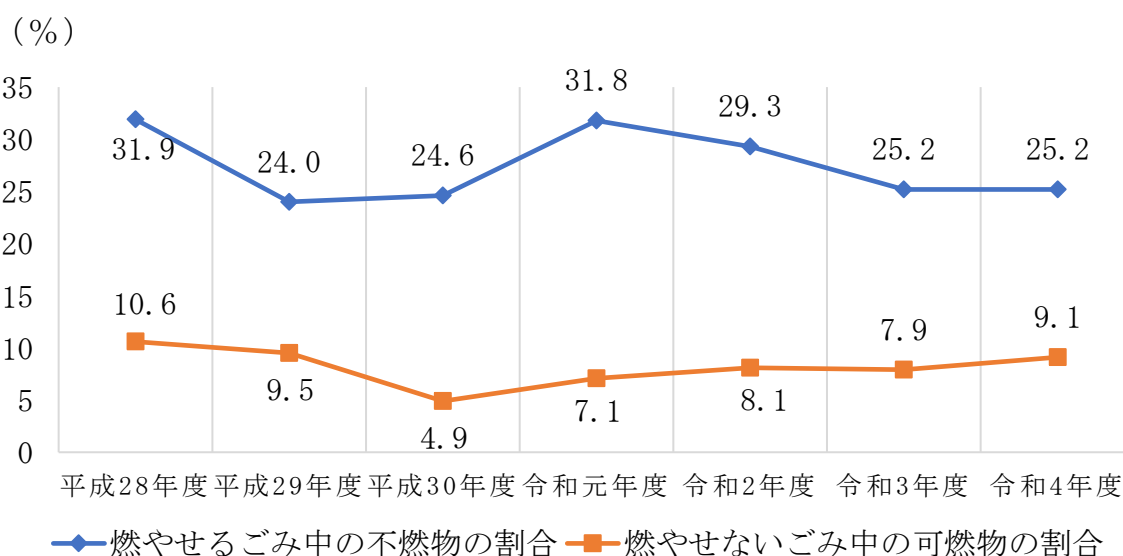
※ 組成分析とは、ごみの中にどのようなものが、どのような割合で含まれているかを示すものである。

※ 組成分析については、柳泉園組合構成3市（東久留米市・清瀬市・西東京市）のごみが混じった状態で実施するため、以下の値は全て3市共通のものである。

（単位：％）

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
有料化時期	実施前年度	10月より実施	実施後2年目	実施後3年目	実施後4年目	実施後5年目	実施後6年目	実施前年度（平成28年度）比
燃やせるごみ中の不燃物の割合	31.9	24.0	24.6	31.8	29.3	25.2	25.2	-6.7%
燃やせないごみ中の可燃物の割合	10.6	9.5	4.9	7.1	8.1	7.9	9.1	-1.5%

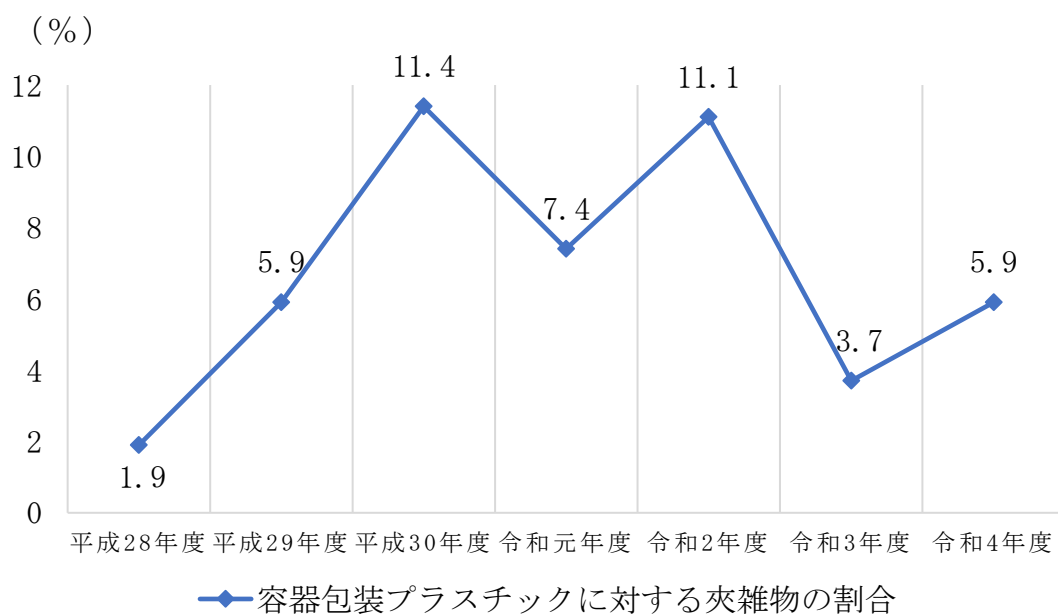
資料：多摩地域ごみ実態調査（表5、6 可燃ごみ、不燃ごみの組成）



(2) 容器包装プラスチック回収量に対する夾雑物量の割合

令和4年度における「容器包装プラスチック回収量に対する夾雑物量の割合」は、前年度（令和3年度）及び有料化実施の前年度（平成28年度）との比較において増加しており、容器包装プラスチックの分別排出の質を維持していくためには、継続して分別意識の啓発や分別ルールの周知が必要である。

※ 夾雑物とは、資源化に適さない容器包装プラスチック以外のものである。



IV 不適正処理や不法投棄の防止

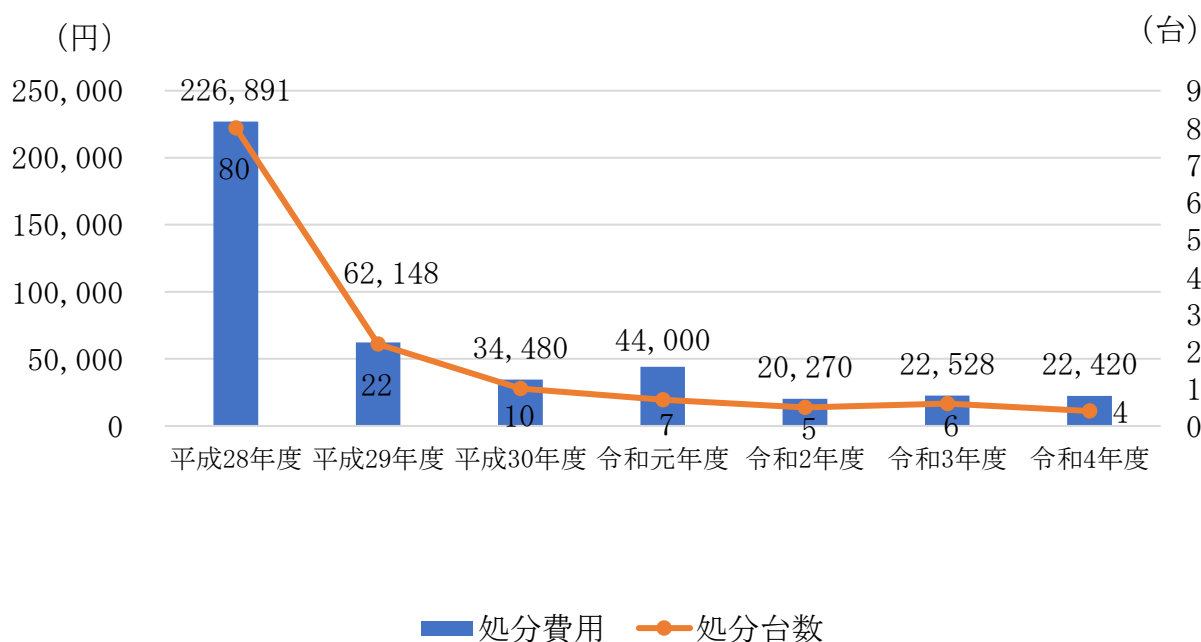
1 不法投棄回収状況（特定家庭用機器）

有料化により増加を懸念された不法投棄は、有料化実施前年度（平成28年度）との比較において、各年度で減少している。

※ 特定家庭用機器とは、エアコン、テレビ(ブラウン管、液晶・プラズマ)、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機である。

※ 以下は、ごみ集積所跡地に不法投棄された特定家庭用機器の処分の値である。

年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
有料化時期	実施 前年度	10月より 実施	実施後 2年目	実施後 3年目	実施後 4年目	実施後 5年目	実施後 6年目	実施前年度 (平成28年 度) 比
処分台数 (台)	80	22	10	7	5	6	4	-95.0%
処分費用 (円)	226,891	62,148	38,480	44,000	20,270	22,528	22,420	-90.1%



V 手数料収入の使途

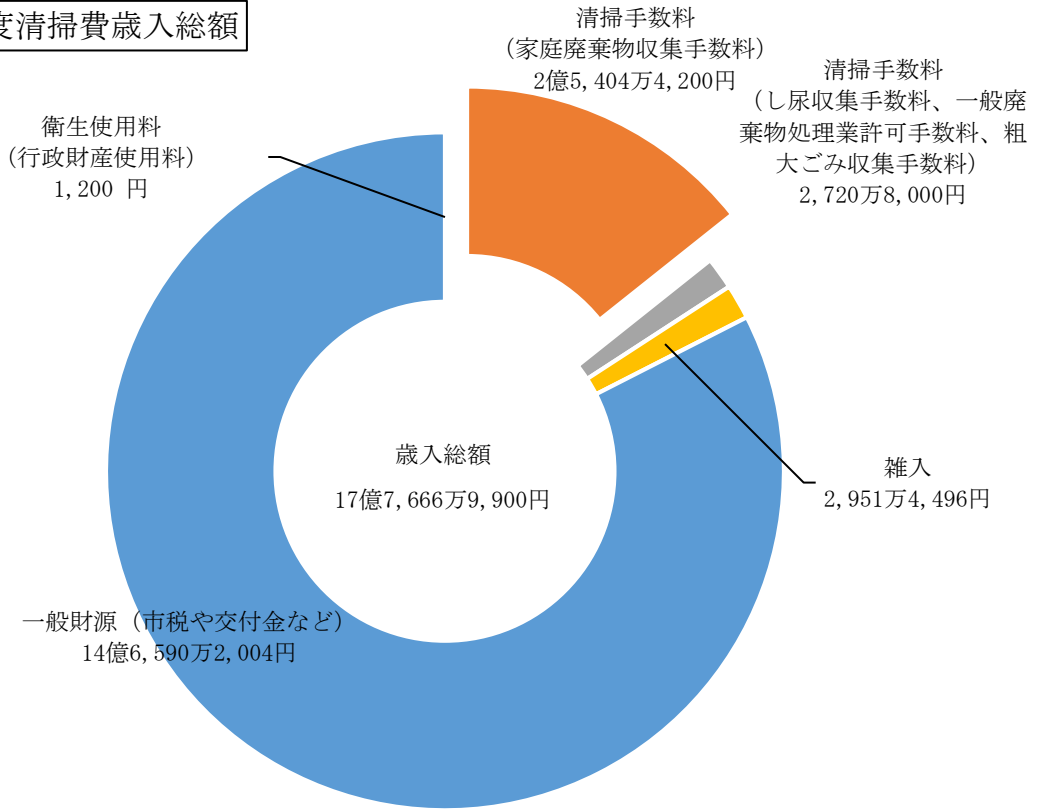
令和4年度の家庭廃棄物収集手数料による歳入（2億5,404万4,200円）は、令和4年度清掃費歳入総額（17億7,666万9,900円）の14.3%にあたり、充当先は全て家庭廃棄物・資源物収集事業（8億464万7,859円）である。

1 令和4年度清掃費歳入総額（前年度比較）

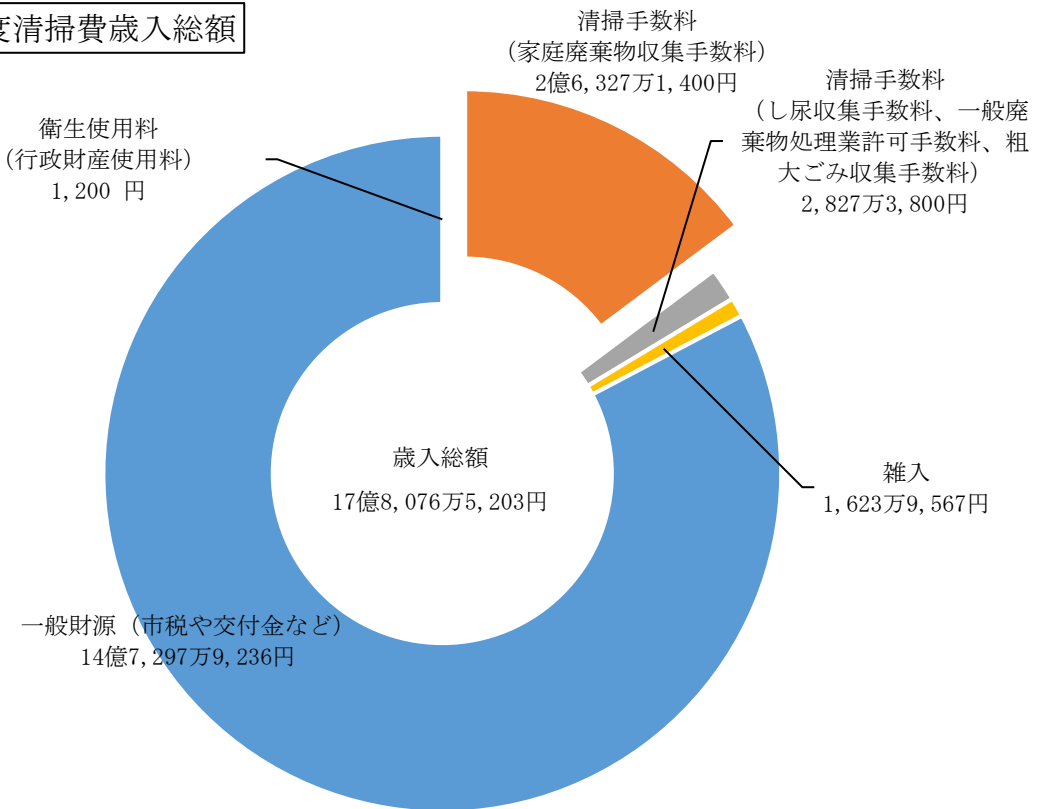
（単位：円）

財源	款	節	内容	令和3年度	令和4年度	前年度比	構成比
特定財源				307,785,967	310,767,896	+2,981,929	-
	使用料及び手数料			291,546,400	281,253,400	-10,293,000	-
		衛生使用料		1,200	1,200	0	-
			行政財産使用料	1,200	1,200	0	0.0%
		清掃手数料		291,545,200	281,252,200	-10,293,000	-
			し尿収集手数料	172,000	160,000	-12,000	0.0%
			一般廃棄物処理業許可手数料	130,000	400,000	+270,000	0.0%
			粗大ごみ収集手数料	27,929,800	26,614,000	-1,315,800	1.5%
			し尿収集手数料（連絡所分）	42,000	34,000	-8,000	0.0%
			家庭廃棄物収集手数料	263,271,400	254,044,200	-9,227,200	14.3%
	諸収入			16,239,567	29,514,496	+13,274,929	-
		雑入		16,239,567	29,514,496	+13,274,929	-
			地域環境力活性化事業補助金	2,029,000	0	-2,029,000	0.0%
			紙類等売却代金	1,393,173	1,745,380	+352,207	0.1%
			行政財産使用許可に伴う光熱水費	76,082	87,404	+11,322	0.0%
			指定収集袋（外装）広告料	1,203,000	1,325,000	+122,000	0.1%
			有償入札拠出金	11,538,312	26,231,752	+14,693,440	1.5%
			三多摩は一つなり事業負担金	0	124,960	+124,960	0.0%
一般財源（市税や交付金など）				1,472,979,236	1,465,902,004	-7,077,232	82.5%
			合計	1,780,765,203	1,776,669,900	-4,095,303	100.0%

令和4年度清掃費歳入総額



令和3年度清掃費歳入総額



2 令和4年度清掃費歳出総額（前年度比較）

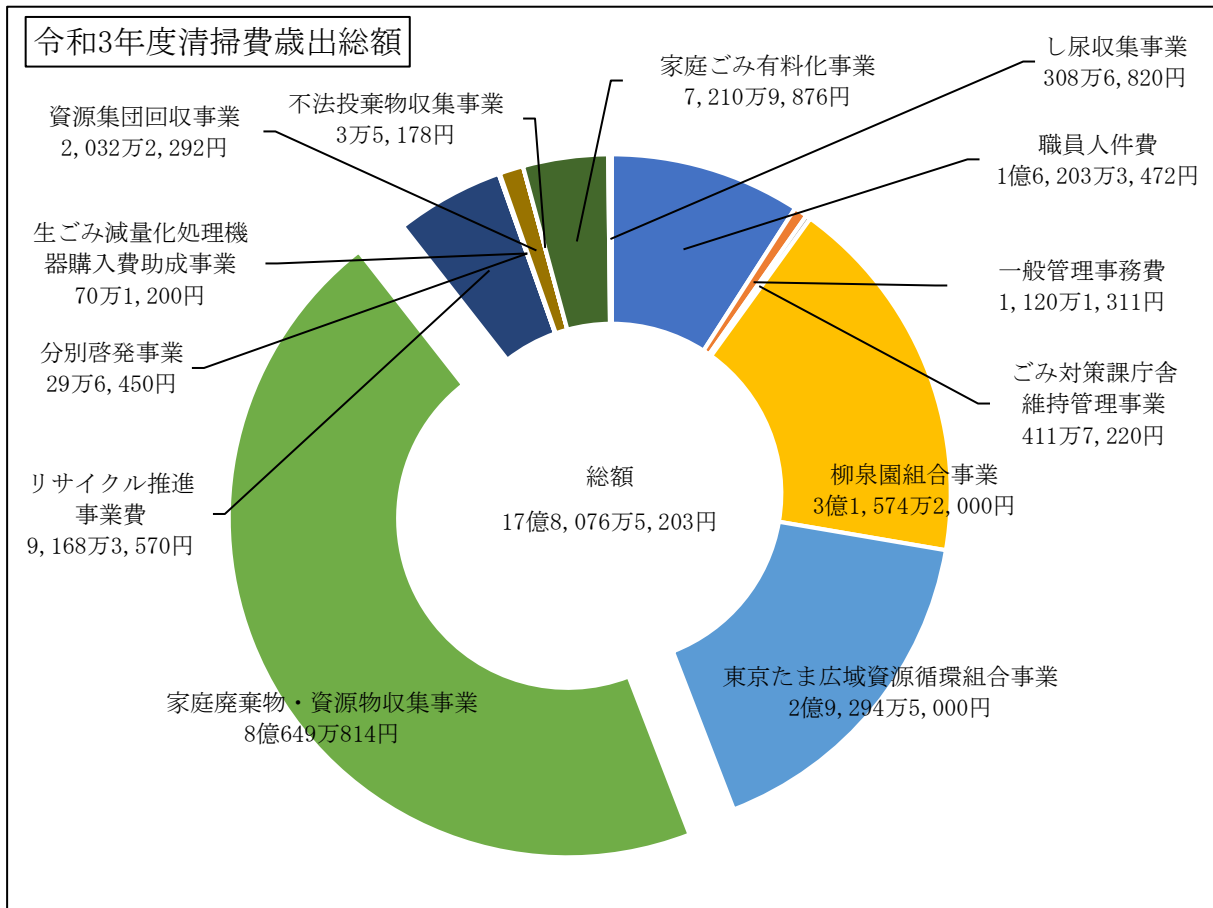
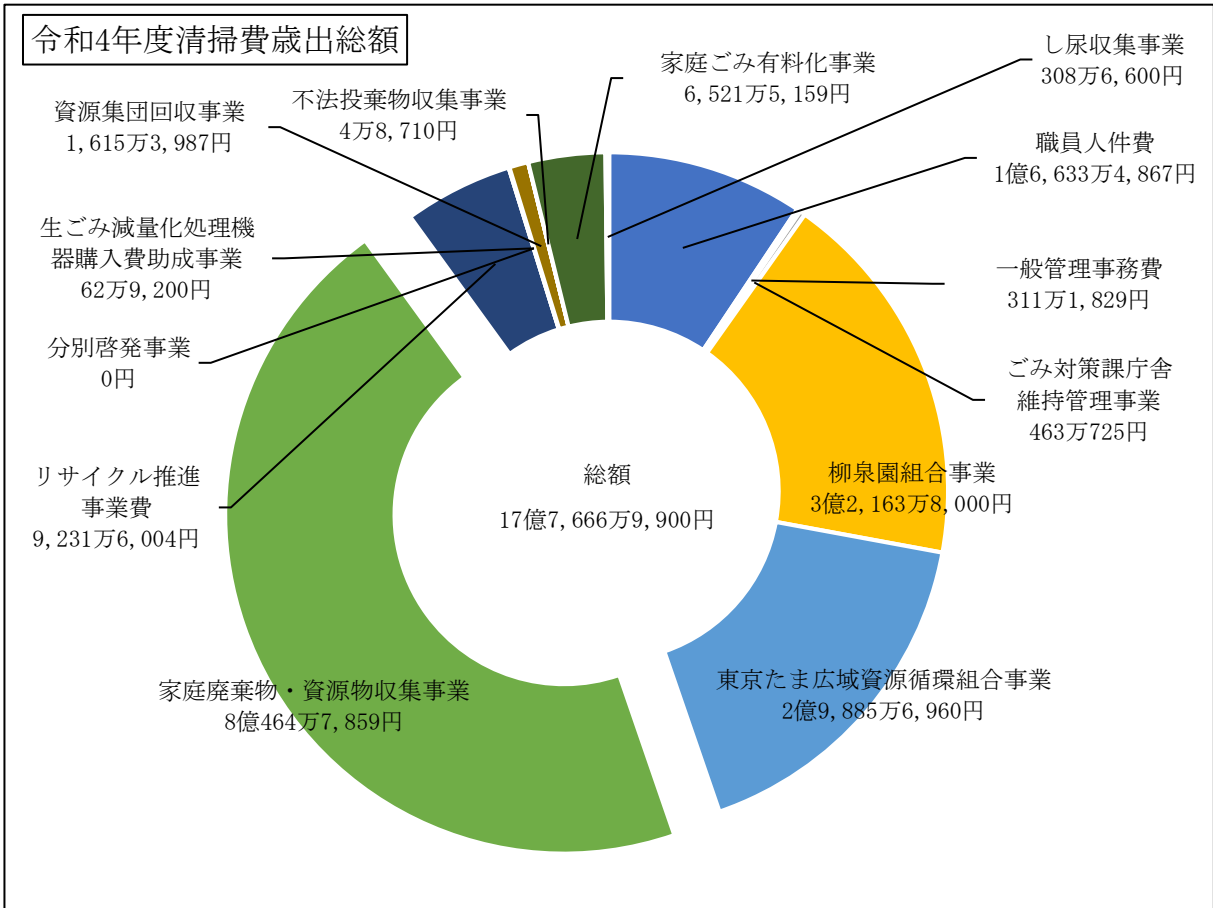
（単位：円）

項目	中事業	令和3年度	令和4年度	前年度比
3. 清掃費		1,780,765,203	1,776,669,900	-4,095,303
1. 清掃総務費		786,039,003	794,572,381	+8,533,378
	職員人件費	162,033,472	166,334,867	+4,301,395
	一般管理事務費	11,201,311	3,111,829	-8,089,482
	ごみ対策課庁舎維持管理事業	4,117,220	4,630,725	+513,505
	柳泉園組合事業	315,742,000	321,638,000	+5,896,000
	東京たま広域資源循環組合事業	292,945,000	298,856,960	+5,911,960
2. 塵芥処理費		991,639,380	979,010,919	-12,628,461
	家庭廃棄物・資源物収集事業	806,490,814	804,647,859	-1,842,955
	リサイクル推進事業費	91,683,570	92,316,004	+632,434
	分別啓発事業	296,450	0	-296,450
	生ごみ減量化処理機器購入費助成事業	701,200	629,200	-72,000
	資源集団回収事業	20,322,292	16,153,987	-4,168,305
	不法投棄物収集事業	35,178	48,710	+13,532
	家庭ごみ有料化事業	72,109,876	65,215,159	-6,894,717
3. し尿処理費		3,086,820	3,086,600	-220
	し尿収集事業	3,086,820	3,086,600	-220
合計		1,780,765,203	1,776,669,900	-4,095,303

■令和4年度家庭廃棄物・資源物収集事業の内訳（前年度比較）

（単位：円）

節	内容	令和3年度	令和4年度	前年度比
報酬	会計年度任用職員報酬	5,856,291	5,885,196	+28,905
職員手当等	会計年度任用職員期末手当	984,878	1,165,590	+180,712
需用費	消耗品費、燃料費など	6,042,014	6,123,926	+81,912
役務費	自動車損害保険料	255,950	234,000	-21,950
委託料	ごみ資源物収集運搬委託など	792,893,581	790,329,289	-2,564,292
使用料及び賃借料	有料道路使用料	0	9,160	+9,160
備品購入費	庁用備品	29,700	420,618	+390,918
負担金、補助金及び交付金	在宅医療用注射針回収事業負担金	48,400	82,280	+33,880
公課費	自動車重量税	380,000	397,800	+17,800
合計		806,490,814	804,647,859	-1,842,955



3 令和4年度家庭廃棄物収集手数料の内訳

種類		指定収集袋大きさ				合計
		5L	10L	20L	40L	
燃やせる ごみ	1枚	10円	20円	40円	80円	-
	納品数	919,810枚	1,509,290枚	1,755,070枚	655,880枚	-
	小計	9,198,100円	30,185,800円	70,202,800円	52,470,400円	162,057,100円
燃やせない ごみ	1枚	-	20円	40円	-	-
	納品数	-	379,620枚	596,200枚	-	-
	小計	-	7,592,400円	23,848,000円	-	31,440,400円
容器包装プラ スチック	1枚	-	10円	20円	40円	-
	納品数	-	637,490枚	1,280,010枚	714,290枚	-
	小計	-	6,374,900円	25,600,200円	28,571,600円	60,546,700円
合計						254,044,200円

(参考) 令和3年度家庭廃棄物収集手数料の内訳

種類		指定収集袋大きさ				合計
		5L	10L	20L	40L	
燃やせる ごみ	1枚	10円	20円	40円	80円	-
	納品数	919,740枚	1,572,720枚	1,814,750枚	677,840枚	-
	小計	9,197,400円	31,454,400円	72,590,000円	54,227,200円	167,469,000円
燃やせない ごみ	1枚	-	20円	40円	-	-
	納品数	-	386,240枚	640,000枚	-	-
	小計	-	7,724,800円	25,600,000円	-	33,324,800円
容器包装プラ スチック	1枚	-	10円	20円	40円	-
	納品数	-	646,620枚	1,321,770枚	739,400枚	-
	小計	-	6,466,200円	26,435,400円	29,576,000円	62,477,600円
合計						263,271,400円

参考 収集体制

令和5年3月31日時点

		東久留米市	清瀬市	西東京市	東村山市	小平市
収集方式		戸別収集 (※1)	戸別収集 (※2)	戸別収集	戸別収集 (※1)	戸別収集 (※1)
収集頻度	燃やせる ごみ	週2回	週2回	週2回	週2回	週2回
	燃やせない ごみ	週1回	週1回	2週に1回	月に1回	4週に1回
	容器包装プ ラスチック	週1回	週1回	週1回	週1回	週1回
	ペット ボトル	週1回	週1回	週1回	週1回	2週に1回
	びん	週2回	週1回	2週に1回	週1回	2週に1回
	缶	週1回	週1回	2週に1回	月に2回	2週に1回
	紙・布	週1回	週1回	2週に1回	月に2回	2週に1回
	有害ごみ	週1回	拠点回収 (※3)	2週に1回 (※4)	週1回	2週に1回
	小型家電	拠点回収	拠点回収	4週に1回	拠点回収	拠点回収
	廃食用油	—	—	4週に1回	—	—
金属類	—	—	4週に1回	—	2週に1回	

※1 小型家電は除く。

※2 資源物、小型家電は除く。

※3 スプレー缶・ライターは不燃ごみと同時に収集。

※4 スプレー缶・ライターはびんと同時に収集。

家庭ごみ有料化制度の点検結果について

(令和4年度振り返り)

令和5年11月

発行／東久留米市

編集／東久留米市環境安全部ごみ対策課

住所／〒203-0042

東京都東久留米市八幡町二丁目10番10号

電話／042-473-2117

FAX／042-477-6755

E-mail／gomitaisaku@city.higashikurume.lg.jp